

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 747

政策体系	13	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 6. 保健体 - 1. 保健体 現年		
事業名	社会体育振興事業				
細事業名	日吉ダムマラソン事業				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	前田・湯浅

## 1. 事業の概要

日吉ダム周辺の景観にふれ、体力づくりをしながら、コースを走破し、気持ちをリフレッシュさせることと合わせ、市内外住民との交流を深める方策として本大会を開催する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

スポーツ・レクリエーション活動の振興  
 日ごろの成果を発揮できる場の提供及びスポーツの楽しさや爽快感を参加者はもとより大会運営に携わるスタッフとともに共感してもらい、生涯スポーツの振興に寄与する。

### ② 事業を実施する必要性

マラソン大会を通じて競技力の向上、健康増進意識の高揚、市民参画による協働の推進、日吉ダム周辺の環境のPRを図る。大会規模に応じた予算編成を可能とするため、大会をきっかけに地域内外との交流成果を反映したまちづくり（スポーツ競技だけでなく観光や地域振興など）を担った事業として展開されている。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	4,000	2,800	2,380	1,190	2,000	2,000	2,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	千円	4,000	2,800	2,380	1,190	2,000	2,000	2,000
職員等の従事人員	人/年	—	0.58	0.40	0.44			
人件費	千円	—	3,941	2,928	3,353			
事業費総額	千円	—	6,741	5,308	4,543			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

補助金 1,190,000円

## 5. 事業結果の概要

第13回日吉ダムマラソン大会  
 平成22年4月25日（日）  
 エントリー総数 3,113人  
 出場総数(完走者)2,605人  
 ※第11回大会と比べ 約16%増

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

第14回大会については、平成23年3月11日発生の東日本大震災の影響により、中止となった。  
また、本事業は社会体育事業として健康増進や競技力向上を図るものではあるが、市外参加者が多いため南丹市のPR（観光や地域振興）要素も高い。その点からも、教育委員会（社会体育）だけでなく市長部局（観光振興）との連携が不可欠である。また、今後は大会実行委員会の自主的運営を促す必要がある。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

大会運営を安全に行うことと今まで以上に市民参加があった。  
大会は社会体育事業として健康増進や競技力向上を図るものではあるが、市外参加者が多いため南丹市のPR（観光や地域振興）要素も高い。  
教育委員会（社会体育）だけでなく市長部局（観光振興）との連携が不可欠。大会実行委員会の自主的運営を促す必要がある。

##### ■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
大会運営を安全に行うことと今まで以上に市民参加を促すこと。  
②当該事業のアピール事項  
大会は社会体育事業として健康増進や競技力向上を図るものではあるが、市外参加者が多いため南丹市のPR（観光や地域振興）要素も高い。  
③反省点、今後の展開・方向性等  
教育委員会（社会体育）だけでなく市長部局（観光振興）との連携が不可欠。大会実行委員会の自主的運営を促す必要がある。